

ふくしのまち

社協だより

No. 101
ふれあいネットワーク

社会福祉法人 鶴ヶ島市社会福祉協議会



ボランティア・市民活動団体の紹介⑯

鶴ヶ島市福祉教育・ボランティア学習推進員 「ういす・共に」

鶴ヶ島市福祉教育・ボランティア学習推進員「ういす・共に」は、埼玉県社会福祉協議会が開催した「埼玉県福祉教育・ボランティア学習推進員養成研修」の修了者で構成されています。

地域での福祉をふだんの暮らしの幸せととらえ、「福祉教育・ボランティア学習推進の連携の場」を設け、互いに資質向上させ、誰もが地域で自分らしく、ともに、豊かに暮らせるまちづくりに向けて、柔軟に、そして、ゆるやかに活動していくことを目的として設立されました。

地域での啓発活動や福祉教育・ボランティア学習研修会の開催、そして学校や社会福祉施設で開催される福祉教育実践の支援などの活動をしています。



▲推進員による福祉教育・ボランティア学習の実践



▲「ういす・共に」の設立総会を開催(平成18年4月)



▲学校における福祉教育(総合学習)への協力

社会福祉協議会の
ホームページをご覧ください。

社会福祉協議会の業務内容やボランティア・市民活動の情報など掲載しています。

URL <http://www.tsurusha.or.jp/>

この「社協だより」は、共同募金配分金により作成しています。

会員加入

のご協力
ありがとうございます

平成18年度につきましても、みなさまのご理解・ご協力ありがとうございました。会費は、社会福祉協議会の財源として有効に活用させていただきます。

会費の主な使いみち

- 福祉教育・ボランティア活動の推進
- 広報などの啓発事業

会員加入集計表

平成19年1月末日現在

会員区分	件数(件)	口数(口)	集計額(円)
個人会員	7,533	8,321	4,160,500
団体会員	48	104	104,000
賛助会員	74	78	780,000
合 計	7,655	8,503	5,044,500

※集計表は自治会加入以外の会員も含んでいます。

会員加入は随時受け付けています。

直接社会福祉協議会事務局までお願いします。

個人会費 1口 500円
団体会員 1口 1,000円
賛助会員 1口 10,000円



埼玉県共同募金会鶴ヶ島市支会からのお知らせ

あたたかい
“はーと”を
ありがとうございます

共同募金運動にご協力ありがとうございました。

10月1日から全国一斉に始まりました共同募金運動には、みなさまのあたたかいご理解とご支援をいただきました。ここに厚くお礼申し上げます。

赤い羽根募金

戸別募金
4,085,120円

街頭募金
294,305円

学校募金 個人・法人募金
135,874円 137,261円

職域募金
272,844円

合計
4,925,404円

地域歳末たすけあい募金

戸別募金
4,149,006円

個人・団体募金
50,000円
69,387円

合計
4,268,393円

主な使いみち（赤い羽根募金）

- ボランティア・市民活動団体への支援
- 福祉教育の推進

主な使い道（地域歳末たすけあい募金）

- 歳末援護事業
- 地域交流事業を実施する団体の育成

会員加入及び共同募金運動は、福祉委員を中心に、各自治会の自治会長や班長を始め、多くの方にご協力をいただきました。ここに厚くお礼申し上げます。

社協団体・賛助会員加入協力者の方々

(平成19年1月末日現在 順不同・敬称略)

団体会員



共同募金協力者の方々

(平成19年1月末日現在 順不同: 敬称略)

赤い羽根募金

個人大口・法人募金

個人大口・法人募全

職員

学校募金

-

フェスタ2007



ボランティア・市民活動団体同士が互いにつながりあう機会とともに、広く市民に対してボランティア・市民活動を知つもらう機会をつくる楽しいイベントです。

3月3日(土)

10時～19時(1日目)

《鶴ヶ島市東公民館》

「地域は若者・よそ者・ばか者が変える！」

<http://blog.canpan.info/tsurusha/daily/200702/06>

◆シンポジウム 10時～12時

「若者×地域＝マンパワー！

～心のスイッチ、入っちゃった!？～」

◆分科会 13時～19時

「激論！朝まで生討論2007—リーダーとは？—」

「知的障がい児・者に関わる若者ボランティア集合」

「大学卒業で終わりじゃない！新社会人の地域デビュー」

ほか、全6分科会

◆日本で初(かもしれない)！?

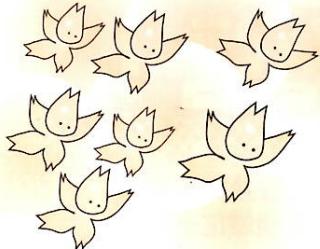
17時～翌日17時

「24時間地域交流ゴミ拾い」地域の人達と交流しながらゴミ拾いします。ぜひ一緒にゴミ拾いしましょう。

◆ワカモノ×地域＝大交流会 17～19時

「飲めや！歌えや！踊れや??」イベント全体・参加者同士・地域の人…いろんなつながりが生まれ出せる交流会です。





～世代を超えて～

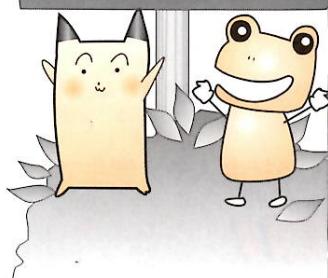
ボランティア・市民活動

日 時

3/ 土
3~4 日

会 場

鶴ヶ島市東公民館
つるがしま市民の森



3月4日(日)

9時30分～15時30分(2日目)

《鶴ヶ島市東公民館》
《第5号市民の森》

「若者に負けない！ 地域の底力」

《鶴ヶ島市東公民館》

◆シンポジウム 10時～12時

「地域の力づくり！～“育てよう地域のちから、
タテ・ヨコ・ナナメにつながって!!～」

◆活動展示・活動体験・こどもあそび体験、
ボランティア相談会 10時～15時

◆2006年助成金事業報告会 13時～14時30分

◆フェスタの食卓(模擬店)
ゲルで遊ぼう(音楽会等) 11時～

◆みんなでダンス 15時～

《第5号市民の森》

◆活動体験、竹であそぼう～竹細工

10時～15時



問合先 市民活動推進センター (TEL 272-5600)
鶴ヶ島市社会福祉協議会 (TEL 286-5739)

鶴ヶ島の若者パワー発信！

鶴ヶ島では若者（高校生～大学生）のボランティア・市民活動団体が活発に活動しています。今回そんな団体のメンバーたちが協力して、「若者パワー」を地域にそして全国に発信します。そんな鶴ヶ島の若者パワーを紹介します。

● 鶴ヶ島で活躍している若者のグループ ●

ヒーロースクール実行委員会

毎月1回 ヒーロースクールでは、普段は地域で活動する機会が少ない大学生達が、子ども達の「お兄さんお姉さん」として、共に遊び、共に喜びを感じ、心と心の関係を築くよう活動しています。



ヤングボランティアグループ「コスモス」

障がいを持っている中高生と一緒に様々な活動をしています。

毎月第2日曜日をレクリエーション企画日。（公民館で調理実習等）



毎月第4土曜日を通常活動日。

（児童館の遊具を借りて遊ぶ）

（メンバー）障がいを持っている中高生
（ボランティア）

ボランティアに興味をもっている社会人や大学生です。

ラッキー

「身近な所でバスケットがしたい。」そんな障がいを持った仲間の思いからはじめました。上手な人もへたっぴな人も、みんな一緒になってバスケを楽しんでいます。

毎月第2・4水曜日
夜7時から9時



わかばのちから

坂戸のグループですが鶴ヶ島でも活躍しています。夏のボランティア体験を企画したり、視覚障がい者の団体と一緒に企画を行っています。



※団体の活動の詳細は社会福祉協議会へ

若者パワー結集！

～地域へ・全国へ発信～

「わかもの@地域.Com～地域はよそ者・若者・ばか者が変える！」

鶴ヶ島を中心に活動してきた若者たちが、今まで地域でもらった喜び・苦労・楽しさを発信します。また、そこで学んだ知識・技術を共有します。だから、「若者と一緒に何かしたい！」と思っている地域の方。そして、多くの同世代の若者に参加してもらえた幸いです。詳しくは4ページをご覧下さい。

街づくり団体 さんふらわあ。

災害が起きた時、一番最初に支えてくれるのは近所の人たち。そんな支えあえるコミュニティ・街を創っていきたい。そんな思いで、地域のごみ拾いや防災訓練に参加しています。



基本的に毎週金曜日午後7時から9時まで
市民活動推進センター

公開審査会を行います

日時

4月14日(土)

午後1時30分から
午後5時ごろまで（予定）
場所：西公民館 集会室

鶴ヶ島市社会福祉協議会では、地域の中で活動しているボランティア・市民活動団体を支援するために、共同募金配分金を活用し、助成金交付事業を行います。審査にあたって、公開審査会を予定しています。

普段はそれぞれに活動している団体を、知ることができます。興味のある方は、どなたでも見にきてください。

こうしてきまる 審査の流れ



ねらい (審査会を取り入れる理由)

- ①申請書類で一方的に決めるのではなく、対話を交えてお互いの考えを理解しあいながらボランティア活動・市民活動の振興を図る。
- ②グループ同士が情報交換や交流を深める機会にする。
- ③自分たちのグループ活動について公の場で発表する事によって自立したグループ、自立した市民を創る。
- ④社会福祉協議会 まちづくり・ボランティアセンターと共同募金の意味を多くの市民に理解してもらい、地域福祉への認識を深めてもらう。
- ⑤企業や自営業者の参加を募り、地域全体で参加できる仕組みをつくる。

企業、自営業のみなさん
ボランティア・市民活動を応援してください！

地域に暮らす一人ひとりがいきいきと暮らせるまちづくり、終の住処としたい地域づくりのために、それぞれの課題解決や住民のためにボランティア・市民活動団体は活動しています。まちづくりへの参加に協力していただける企業、自営業者を募集しています。

- * 公開審査会 当日お越しいただき、ボランティア・市民活動団体と交流してください。
- * プrezenteーションに参加した団体へ応援メッセージをお渡し下さい。

あしらせコーナー

事業所移転のお知らせ

社協だより「ふくしのまち」No.100 ボランティア・市民団体としてご紹介した「特定非営利活動法人トータルファミリーサポート あゆみ」の事業所が、移転しましたのでお知らせします。



手話通訳派遣事業の利用者懇談会を開催します

手話通訳派遣事業を利用されている聞こえない方々を対象とした講演と懇談会を開催します。講演は、坂戸・鶴ヶ島市消防組合の方を講師に火災や消火器の使い方やファクシミリによる通報の演習などを行います。

火事や地震などの災害は、いつ起きるか分かりません。もし、夜に何かあったら、音を聞くことのできない聞こえない人々は、全く情報を得ることができなくなってしまう怖れもあるのです。備えあれば憂いなし。聞こえない人々と災害時対応を勉強します。

講演の後は、手話通訳派遣事業についてのご意見やご要望等を聞く懇談会を開催します。聞こえない方にアンケートを実施した結果、文章が苦手な方もいることから懇談会形式となりました。この懇談会で出された貴重な意見を今後の手話通訳派遣事業に反映させていきたいと思います。

日 時 平成19年3月3日（土）午前9時～12時

場 所 鶴ヶ島市社会福祉協議会会議室

対 象 手話通訳派遣事業を利用している方

この社協だよりは再生紙を使用しています。
日々の暮らしに流されている自分がどういった気持しがあつただろうか。自分を反省させられました。（お）

身体障害者運転能力開発訓練センター (通称・東園)のご案内

東園では、就職するために自動車運転免許を取得したい身体障害者の方に、厚生労働省から委託されて運転教習をしています。

教習期間は3か月、その間の所定の教習費は無料、検定料などの自己負担は約3万5千円で、1月、4月、7月、10月の各月の月初めが入所日です。

国の助成でつくられた身体障害者専用の寮（有料）もあり、公安委員会からは公認・東園自動車教習所として実地試験が免除されています。詳しくは、東園へお問合せください。

問合先 東園自動車教習所 新座市堀ノ内2-1-46
電 話 048(481)2711 **FAX** 048(481)6578

あたたかい善意ありがとうございました

お寄せいただいた善意は、社会福祉事業のために活用させていただきます。（順不同・敬称略）

第20回鶴ヶ島市南公民館まつり実行委員会	18,930円
鶴ヶ島市老人クラブ連合会	35,255円
ひばり歌謡連合会	30,000円
鶴ヶ島市リサイクル都市づくり市民の会	70,333円
松の実歌謡会	43,438円
共和エンジニアリング株式会社	96,795円
鶴ヶ島イーストDSC	20,000円
武藏野同志会	27,225円
埼玉県農業大学校後援会	13,990円
第14回鶴ヶ島市大橋公民館まつり実行委員会	
学童保育室たんていクラブ	1,668円
西入間遊技業防犯協力会	100,000円
埼玉パイロットクラブ	100,000円
富士見ゴルフクラブ	10,390円
株式会社ヤオコー 若葉店	7,993円
鶴ヶ島市赤十字奉仕団	10,000円
第4回つるがしま郷学の森まつり実行委員会	26,898円
鶴ヶ島産業まつり実行委員会	10,000円
武州ガス株式会社	30,000円
坂戸・鶴ヶ島童謡の会	2,000円
田部 好	6,050円
鶴ヶ島美術協会	45,000円
正法寺	6,283円
脚折北部神社氏子一同	3,169円
株式会社ヤオコー ワカバウォーク店	5,909円
カラオケ愛好会	45,619円

その他匿名により8件のご寄付をいただきました。
(平成18年11月16日～平成19年1月31日)

先日テレビで、元アイルンドのテロリストだった男性が、改心して牧師となり、日本で布教活動をしているという番組を途中から観ました。弟が拉致され、ひどい拷問を受け、身も心もボロボロにされた、その相手に対する憎しみを赦しに変えたというのです。

日本での活動では刑務所の中でも話しをする事もあり、自分が犯した罪や今の心境になるまでを正直に話すことによって、服役者は何かを感じ更生する人もいるのだということです。憎しみの連鎖からは何も生まれない。頭では分かっていて、それでも、当事者になると、の境地になるのは難しいと思ってしまいます。しかし、彼はたんたんと活動を続け、千枚配ったシリシで、教会に来てくれた人はたつた一人だったこともあったそうですが、地道に活動し続けているのです。何だか観ていて自分が恥ずかしくなりました。

編集室



ふくしのまち No.101 平成19年3月1日発行
編集・発行 鹤ヶ島市社会福祉協議会
Tsurugashima Council of Social Welfare

〒350-2213 鶴ヶ島市脚折1562-1
電話 286-5739 FAX 287-0557
E-mail t_chiiki@tsurusha.or.jp